

学校法人同志舎 リハビリテーションカレッジ島根 自己評価報告書

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1) 項目1：理念・目的・育成人材像

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4	本校の求める人材および育成する人材像については、アドミッションポリシー、ディプロマポリシーにて定めている。ディプロマポリシーでは「地域の発展に努める」学生の育成に力を入れており、学生が地域に出る機会を増やしている。作業療学科のカリキュラムである「作業療法専門学」では、地域住民とともに、地域課題の発見から解決策の提案まで、学生が主体になって取り組んでいる。また、今年度より産業作業療法への取り組みを開始した。（教務部長：青木 耕）
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3	
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3	

2) 項目2：学校運営

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4	計画(単年度・中長期)に沿った学校運営を行い、随時計画の見直しも行っている。 6月には新私立学校法に基づく新たな役員体制を整備した。 理事会は毎月開催されており、意思の疎通と情報の共有化が図られている。 情報システム化については、経営環境が厳しい中、予算を考慮しながら業務の効率化に努めている。 (事務局長：齋藤智和)
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4	
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	3	
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4	
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3	

3) 項目3：教育活動

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3	・教育到達レベルに関しては、学生間の学力差も大きく、高いレベルで揃えることはできていない。また近年は留学生も増えており、到達レベルの設定に苦慮している。 ・実習に関しては、実習指導者の要件が厳格化されたこともあり、実習地の確保が以前より難しくなっている。さらに留学生の実習受け入れ施設の確保が喫緊の課題となっている。これらを理由に実習地の確保に遅れが生じている。 ・成績評価・終了認定についての基準は明確化されているが、イレギュラーなパターンも多く、毎年試行錯誤しながら認定を行っている。教員と学生の双方が納得する形の着地点をみつきたい。 ・国家試験の指導については、毎年合格率100%を目指して指導を行っている。令和6年度は開校以来初の3学科で100%の合格率を出すことができた。令和7年度は苦戦しているが、今後も100%の合格率を継続できるよう指導を行いたい。 ・授業については学生からの授業評価を実施し、以後の授業に反映させている。 ・教員は日々の学生指導に追われ、十分な研究活動を行えていない。教育レベルを向上させるためにも研究への取り組みを促し、学会発表や論文作成ができる環境を作りたい。 (教務部長：青木 耕)
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3	
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3	
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	3	
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	3	
3-9-4	授業評価を実施しているか	4	
3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3	
3-10-2	各種科目試験は適切に行えているか	4	
3-10-3	講義や実習の運営は適切に行えているか	3	
3-10-4	学籍管理は適切に行えているか	4	
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	
3-12-2	教員の資質向上への取り組みを行っているか	4	
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	3	

4) 項目4：学修成果

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4	就職支援室の整備、支援体制の組織化、求人情報が学生に迅速に伝わるシステムの構築等、就職支援体制の充実に取り組んでいる。 就職活動の開始時期も以前より早くなっており、3年次から意向調査を行い、意識づけや病院見学等を指導している。 (教務部長：青木 耕)
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	3	
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	2	

5) 項目5：学生支援

	項目	自己 評価	現状、課題、改善方策等
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	・休退学者の増加は全国の専門学校でも大きな課題となっており、本校も同様である。入学時から困難が予測されるケースもあるが、急に退学意思を伝えてくるケースも少なくなく、日頃のコミュニケーションの重要性を感じる。今年度は1年生の退学が多く発生しており、対策を講じたい。
5-17-1	退学率の低減が図られているか	3	
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4	
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	・また、近年は留学生の退学が増加している。留学生数が増えるにつれ、セラピストになる意欲に乏しい留学生が増えてきている。入学前から医療系養成校の厳しさを伝えること、意欲のない学生を入試段階で絞ること、入学後に十分な意識づけを行うことなどが重要である。
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	
5-19-3	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3	
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4	・学生相談室は公認心理師1名で対応しておいが、利用者が少ない状況が続いている。悩みが深刻化しない段階から気軽に利用できるような方略を考える必要がある。
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	4	
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2	
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3	・保護者との連携については、年4回程度「保護者だより」を送っており、学生の学内での様子や課題などを報告している。また休みが多い学生などは保護者に連絡をし、状況の改善のため協力を仰いでいる。 (教務部長：青木 耕)

6) 項目6：教育環境

	項目	自己 評価	現状、課題、改善方策等
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3	施設・設備・教育用具は規定通りに整備されているが、老朽化したものが増えている。学外実習はほぼ計画通りに実施した。留学生の実習受入先確保が今後の課題として残るが、新理事長の人脈を活用するなどして、新たな受入先の確保に努めている。韓国での海外研修には2名の参加があった。防災組織体制・安全管理体制は適切に整備・運用されている。 (事務局長：齋藤智和)
6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3	
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4	

7) 項目7：学生の募集と受け入れ

	項目	自己 評価	現状、課題、改善方策等
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	令和8年度入学者より本校が高等教育の修学支援新制度の非対象校となるため、日本人学生の募集に大きな影響が出ている。また、留学生の募集についても、11月以降の日中関係悪化の影響を受けており、大変厳しい状況になっている。高等教育の修学支援新制度の対象校への早期復帰をめざすとともに、留学生募集ルートの強化に努めたい。 (事務局長：齋藤智和)
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	2	
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3	
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3	
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4	

8) 項目8：財務

	項目	自己 評価	現状、課題、改善方策等
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	2	学生数は大幅な定員未充足の状態が続いており、中長期的な財務基盤が安定しているとは言えない。 入学者増加と退学防止による学生数の増加、寄附金等による資本の増強、行政や金融機関からの支援継続が必要である。 財務分析・予算策定・予算の執行管理・監査・情報公開は適切に行われている。 (事務局長：齋藤智和)
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3	
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3	
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3	
8-30-1	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	

9) 項目9：法令等の遵守

	項目	自己 評価	現状、課題、改善方策等
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	・自己評価は令和4年度よりホームページにて公開を始めている。 ・学校関係者評価については、令和5年度より体制を整備し、実施している。実施した結果についてもホームページで公開している。 (教務部長：青木 耕)
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4	
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4	
9-34-4	学校関係者評価結果を公表しているか	4	
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3	

10) 項目10：社会貢献・地域貢献

	項目	自己 評価	現状、課題、改善方策等
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	従来から社会貢献、地域貢献には力を入れており、学生も教職員も、地域でのボランティア活動や講演活動等に積極的に関わっている。 (教務部長：青木 耕)
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	